

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。



謹賀新年

2017年—元旦
代々木病院 職員一同



連携・協力して、だれもが安心して暮らせる地域社会をつくる

新年にあたって



院長 本間 章

新年あけましておめでとうございます
昨年は時代の転機を感じさせる大きな出来事がいくつかありました。世界を震撼させた自国利害中心主義を唱えることで

もないアメリカの大統領の誕生。識者がこれは世界の大国アメリカの閉塞感を象徴しており、アメリカの白人中間層の没落による格差と貧困の拡大が国民の強い批判と焦りにより番狂わせの結果を生んだと論評しています。日本では現政権の知性も感じさせない強権政治がはびこり、国民の暮らし、医療介護、社会保障を破壊する政治がまかり通っています。
私たちの社会も超高齢化を迎え20世紀型医療、

2017年の展開



事務長 日向正美

地域の在宅支援病院として無差別・平等の医療・介護をさらにすすめます
都心部においても高齢化がさらにすすむなか、私たちは地域の皆さんが安心して住みなれた地域で暮らせるよう、地域の在宅支援病院としての機能をフルに発揮し、在宅医療を積極的に展開していきます。

ア病床、回復期リハビリ病棟、障害者施設病棟を有しており特色ある入院医療を展開しています。そして退院後、在宅での療養を支える24時間対応の「訪問診療」、「訪問リハビリ」、通院しての「通所リハビリ」等を行っています。透析医療も重視しております。
外来医療では都心部における中小病院としての機能と役割を明確にして、皆様に貢献していきたいと考えています。
また、保健予防活動では、年間約4万人の健康診断や人間ドックを実施しております。SDH（健康の社会的決定要因）の視点から、個人の健康は労働や貧困、社会的背景等に起因すると考え、健康診断実施にとどまらず、事後措置（健診後フォロー）重視、産業医活動、行政交渉等、一貫した流れで健康づくりをすすめてまいります。
私たちは、「無差別・平等の地域包括ケア」をさらに展開するために、地域のネットワークづくりを重視し、地域の医療機関や介護事業所、自治体などと連携し、ひとつの大きなチームとして「切れ目のない医療・介護」をすすめていきたいと考えております。
「地域丸ごと健康づくり」を推進します
代々木病院は「地域丸ごと健康づくり」運動を展開しています。地域住

民や働く人の健康づくりを、WHO（世界保健機関）のすすめる「HPH」（ヘルスプロモーション）グロスピタル&ヘルスサービース健康増進活動拠点病院）の視点でとらえて旺盛に展開したいと思っています。
この間、代々木健康友の会の皆さんと取り組んできた、「ころぼん体操」や病院前や地域での「青空健康チェック」、医師や保健師を講師に行った「地域医療公開講座」等も更にすすめながら、今年には町会や商店会、老人会、建設組合等の地域の皆さんとの連携を強化し、認知症予防等の健康教室開催など、地域の要望に基づいた健康づくり運動をすすめていきたいと考えています。